

第4回 定例会

第4回定例会は、12月5日から12日の8日間の会期で開催し、上遠野町長から提出された、専決処分1件・条例改正・制定等13件・契約の締結1件・町道路線の廃止・認定2件・補正予算4件・人事案件3件が上程されました。

その結果、工事変更請負契約を除き、すべて原案のとおり可決しました。

また、請願2件、報告24件がありました。

専決処分

承認

▽専決処分第20号平成29年度城里町一般会計補正予算第4号の承認を求めることについて

追加補正額
1,611万3千円
予算総額
93億6,892万4千円

条例改正・制定等

可決

▽城里町職員定数条例の一部を改正する条例について

町条例の一部を改正
(教育委員会事務局の職員及び教育委員会の所管に属する学校以外の職員の定数を合算し、臨時的な事業に対応できるように改正するもの)

▽城里町職員の育児休業等

に関する条例の一部を改正する条例について
町条例の一部を改正
(非常勤職員の育児期間の延長を追加、育休の再取得等に係る規定の整備をするもの)

▽城里町国民健康保険税率

の改正
化原古墳発掘調査指導委員会委員の報酬を規定するもの)
町条例の一部を改正
(平成30年度からの国保制度改革に向け、国民健康保険税率等の見直しに伴い改正するもの)

▽城里町特別職の職員で非常勤のもの

の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
町条例の一部を改正
(勤務形態が嘱託職員に類似するものの報酬についての改定及び頓(徳)

反対討論

藤咲 美美子 議員

来年度から国保の運営主体が都道府県に移行することによって国保税の負担額が変わる。町の試算では、4人家族で年3万円、所得なしでも年1万円増の人が出てくる。商工業者や農業者が対象のため、制度発足の当初は70%あった国の助成が、現在は23%に減らされている。市町村は、その分を補うため一般会計からの繰り入れを行ってきた。

負担増を避けるために一般会計からの繰り入れを行うべき。今回の値上げに賛成できない。

▽城里町立学校給食センター条例の一部を改正する条例について

町条例の一部を改正

(平成30年3月31日をもって、桂学校給食センターを閉所に伴い改正するもの)

▽城里町医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例について

町条例の一部を改正

(平成30年10月から対象者を高校生(18歳に達した年度末)まで拡大するもの)

▽城里町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

町条例の一部を改正

(主任介護支援専門員の研修及び更新研修に伴い、主任介護支援専門員の定義規定を明確にするもの)

▽城里町営住宅管理条例の一部を改正する条例について

町条例の一部を改正

(認知症患者等である公営住宅入居者の収入申告義務の緩和等を行うもの)

▽城里町職員の特殊勤務手当に関する条例の制定について

町条例の制定

(国保診療所職員の特殊勤務手当に加え、職員が命令により休日等に自宅待機する場合に特殊勤務手当を支給するもの)

▽城里町公共施設等総合管理基金条例の制定について

町条例の制定

(後年度における公共施設等の更新、統廃合、長寿化等に係る事業経費の財政負担の軽減及び平準化を図ることを目的とした基金を設置するもの)

▽城里町七会町民センターの設置に伴う関係条例の整理に関する条例について

町条例の整理

(七会町民センターを設置するにあたり、関係条例の一部を改正するもの)

▽城里町七会町民センターの設置及び管理に関する条例の制定について

町条例の制定

(七会町民センターを設置・管理するために必要な事項を定めるもの)

▽城里町立幼稚園閉園に伴う関係条例の整理に関する条例について

町条例の整理

(平成31年3月31日閉園に伴い関係条例の整理をするもの)

変更請負契約の締結

否決

▽工事変更請負契約の締結について

平成28年度城里町民センター(仮)サッカー場整備工事

変更請負金額

2億2,610万8千8百円

変更による増額

2,339万2千8百円

契約の相手方

三井住友・三陽特定建設

工事共同企業体

契約の方法 随意契約

反対討論

小松崎 三夫 議員

議員必携では「議決を得て締結した契約を変更する必要が生じた場合は、必ず議決を得なければならぬ。なお、議決を経ないで締結した場合は無効とされている。」となっている。しかし、今回の工事はほぼ終了しており、これは、地方自治法違反である。同様の事例で、会津美里町で否決。岡山県総社市で市長問責決議が可決。滋賀県甲賀市では、担当者処分、市長減給処分議決が可決された事を申し上げ反対討論とする。



賛成討論

南條 治 議員

議案に賛成の立場からの討論。今回の工事契約変更は議会が認めた予算範囲での変更、二割以内のもの。工期の末をもって行うことになっていく。(議会の良識が疑われる。)

弊害①事業者↓町に対する信頼崩壊。②代金の受領が出来ないと請負業者いなくなる。一般的予算の範囲内での変更あれば定例会報告で十二分足り得る。③効率的事業執行ができない。設計変更認められないことを恐れ本来一回での発注を二工区に分けての発注に。大きな税金の無駄使いにつながる。

反対討論

河原井 大介 議員

1. 町が、法的根拠にした国の通達は、町に対して、全く法的拘束力が無い。

2. 国の通達に法的拘束力がないなら、町財務規則に依拠しなければならぬ。

3. 議決前にサッカーグラウンド追加工事を発注してしまったこと。

今件は、城里町行政において大変重要な問題である。承認前の工事発注等の独善的なやり方によってコンプライアンス(法令遵守)違反、公金支出の法的根拠の論理破綻、城里町財務規則に對して抵触する恐れがある為、当然議会としては否決が妥当である。

賛成討論

片岡 藏之 議員

旧七会中学校の工事現場を視察した。

町長が日程を決めたにもかかわらず、議会が今日がいいということで見察を早めた経緯もある。サッカーくじottoの補助金を受けてつくられた芝生のグラウンドなので、町民に活用させる義務がある。校舎も順調に改築が進み、早く七会町民センターを町民に使用させてあげたい。

今、議会がする事は、契約に従って行われた工事請負契約を破棄してマインスイメージを町内外に振りまく事ではない。

町道路線の廃止・認定

可決

▽町道路線の廃止について
▽町道路線の認定について
町道85号線(小勝地内)

追加補正額
1,307万9千円
予算総額
29億8,443万9千円

(七会中学校跡地の整備事業を実施するにあたり、施設の管理用通路とすることから町道の一部を廃止し、施設の管理用道路を除く区域を認定するもの)

追加補正額
72万6千円
予算総額
2億3,347万9千円
▽平成29年度城里町介護保険特別会計補正予算(第2号)について

補正予算

可決

▽平成29年度城里町一般会計補正予算(第5号)について

追加補正額
87万6千円
予算総額
20億5,055万6千円
▽平成29年度城里町公共水道事業特別会計補正予算(第2号)について

追加補正額
1億404万4千円
予算総額
94億7,296万8千円

平成30年4月1日から契約の履行をしなければ業務に支障が生じるものについて3件の債務負担行為を設定したもの